

第22期 東部海区海面漁業調整委員会 委員候補者の推薦・応募状況（募集期間：令和2年10月23日から令和2年11月24日まで） 中間報告

募集人数15人に対して推薦2名、応募0名 合計2名 内漁業者等4名（推薦2名、応募0名）

受付番号	氏名	年齢	性別	職業	主な経歴	漁業者等該当	推薦した団体（カッコ内は個人の場合）				備考
							漁業の状況	団体の名称及び代表者氏名（氏名、性別）	設立の目的（職業、年齢）	推薦の理由	
01	東田 義廣	88	男	漁業	S60.2～ 白糠漁業協同組合理事 S63.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H10.4～H12.3 太平洋北ブロック漁業者会委員	該当	さけ小型定置 いか釣り 刺し網 年間従事 200 日	白糠漁業協同組合 代表理事組合長 西山 里一	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地域高めることを目的とする。	50年以上さけ小型定置に従事して現場に精通している。 さけ小型定置漁業、いか一本釣り漁業を主に行い、漁業研究について熱心にとりくみ安定した生産を上げている。 当組合の理事を務めており、調整能力に優れている。 東部海区漁業調整委員会の委員経験者である。	
02	木村 慶造	83	男	漁業	H23.3～ 百石漁業協同組合 代表理事組合長 H24.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H28.7～ 青森県漁業共済組合代表監事	該当	小型定置 ほっき貝桁網 年間従事 100 日	百石町漁業協同組合 代表理事組合長 木村 慶造	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員の経済的地位の改善のための団体協約の締結。	小型定置網の経営をし、組織の改革を図り、旧小型定置網漁業の操業体制や、漁具の改良・改善に努め、人件費の削減、後継者育成に取り組み、若手の漁業者を加入させ、漁獲金額の増より漁家経営の安定に努めた。 責任感が強く、実行力と的確な判断力には定評がある。確かな先見性と指導力を有する良き指導者として長年にわたり漁業振興に労力を惜しまず人望が厚い。	